

「次亜塩素酸水」を使用した消毒についてのお知らせ

次亜塩素酸水について、昨今その有効性について様々な情報が発信されています。まずは、一連のニュースの発端となったNITE（製品評価技術基盤機構）の発表からお伝えします。

「次亜塩素酸水」の新型コロナウイルスに対する効果については、検証試験が継続中であり、まだ結論は出ていません。今までのところ、新型コロナウイルスに対して一定の効果を示すデータも出ていますが、塩素濃度や酸性度(pH)等の条件によって効果が変化しうるため、評価にあたっては、様々な条件での検証を行う必要があります。今後、早期に結論を得ることを目標に、検証作業を続けてまいります。

次亜塩素酸水を手指や皮膚の消毒で利用することは安全面から控えるよう弊機構が公表したとする報道が一部にありますが、手指、皮膚での利用の是非について何らかの見解を示した事実はございません。

2020年5月29日

次亜塩素酸水は北海道大学の報告にもありますように新型コロナウイルスに対する有効性は確認されています。しかし、生成後の状況次第では、効果に安定性がかけることがわかっています（効果が薄くなるということで、危険になることはありません）。以下の項目に注意していただければ安心してご利用いただけます。

その1 常温で、光に当てないように保管してください。（冷たい、暑い、光に弱いので）

その2 容器を強く振らないでください（振動に弱いのです。やさしく）

その3 開封したら2～3ヶ月以内に使い切ってください。

主成分が次亜塩素酸ナトリウムにもかかわらず「次亜塩素酸水」として販売しているものに対しては安全性が確約されていないので取り扱いには注意が必要です。学校等で噴霧の使用は危険だと考えています。

また、「純粋な」次亜塩素酸水は安定性に欠けるので通販等での扱いには適していないはずで、製品を評価するniteは「次亜塩素酸水」製品の8割に効果がなかったと発表しています。

次亜塩素酸水は出来立てのホヤホヤで



しみず小児歯科